

経営比較分析表（令和5年度決算）

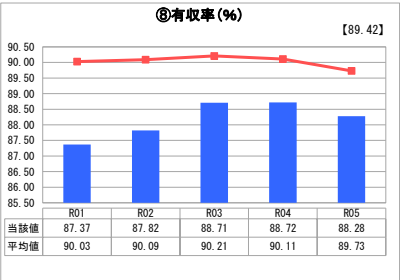
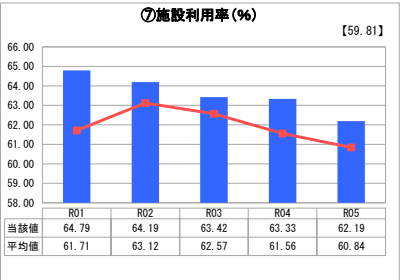
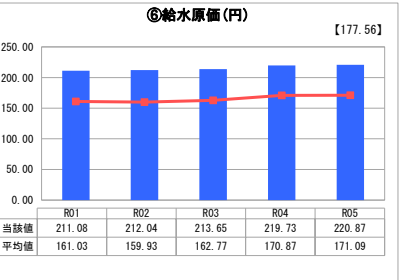
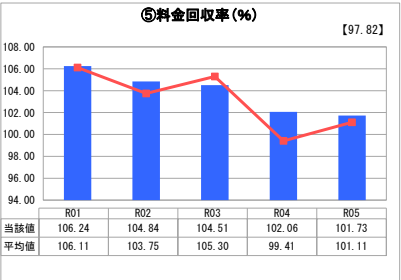
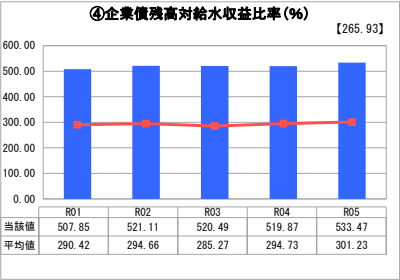
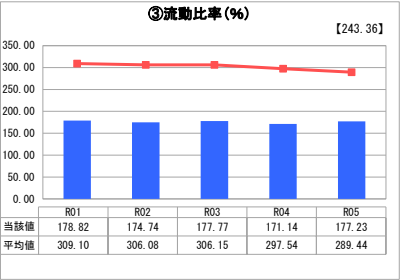
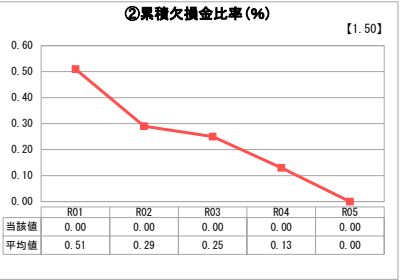
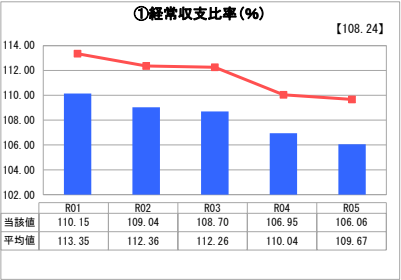
長崎県 佐世保市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A2	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	60.20	98.30	4,195	

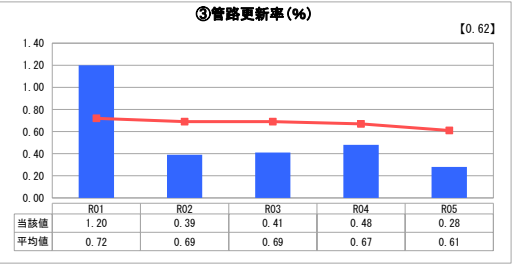
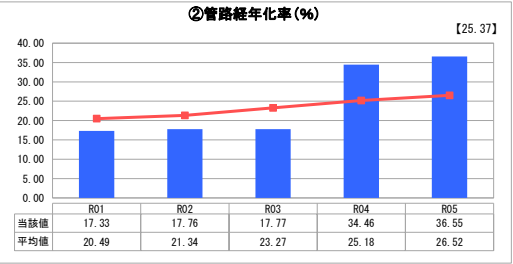
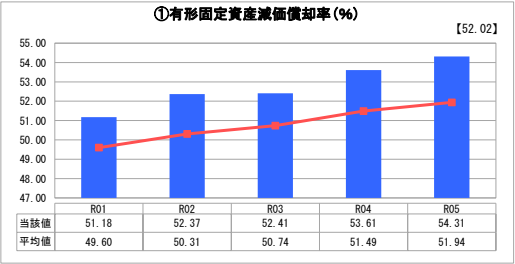
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
236,906	426.01	556.10
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
230,527	219.92	1,048.23

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率 ② 累積欠損金比率 ③ 流動比率
経常収支比率は昨年度よりやや悪化し、流動比率は類似団体平均値を下回っているものの100%以上を維持できている。一時借入金もなく、累積欠損金も生じていないため短期的な支払能力に問題はなく健全な状態といえる。

④ 企業債残高対給水収益比率
企業債残高が増加し、給水収益は減少したため比率が上昇している。類似団体平均値も上回っており、給水収益の約5倍となっている。

⑤ 料金回収率 ⑥ 給水原価
料金回収率は昨年度より約0.3ポイント減少しているが、100%以上のため給水に係る費用を料金で賄っており、類似団体平均を上回っている。給水原価は昨年度より1.14円増加しており、類似団体平均値を上回っている。これは本市の地理的特性により施設数が多く、資本費及び維持管理費に係る経費が高くなっていることが要因である。

⑦ 施設利用率
類似団体の平均を上回っているものの、配水量の減少により昨年度より利用率が下降している。

⑧ 有収率
類似団体平均値を下回っており、約0.4ポイント減少したが、遠方監視装置の活用、高水圧地域における適正水圧のための減圧弁設置などの漏水防止対策を講じ、有収率向上に努めている。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率
年々資産の老朽化が進んでおり、類似団体平均値を上回っている。

② 管路経年化率【水道管路整備課】
R5はR4同様に類似団体平均値を上回っており、年々上昇している。小口径の老朽管解消の割合が低くなったことで、増加率についても類似団体平均値より高くなっている。

③ 管路更新率【水道管路整備課】
R5はR4に比べて小口径管の更新延長が伸びなかったことから更新率が低下し、類似団体平均値を下回った。

全体総括

経常収支比率や流動比率は100%以上を維持しており、短期的な経営の面では一定の健全性は保たれているものの、類似団体平均値を下回っている。近年、浄水場や基幹配水本管の更新など大規模事業の実施により財政的弾力性が減減し、また人口減少などにより給水収益は減少傾向にあるため純利益の確保も難しくなっている。

老朽化の状況においても、管路経年化率は類似団体平均値を上回っており、機能維持のための適切な更新が課題となっている。

今後、更なる人口減少、更新需要増加、物価・労務単価の上昇により経営環境はより厳しくなっていく。健全経営のため、将来の経営見通しに基づき適正な給水収益の確保に努めていく必要がある。